



海老沼小だより

～ かしこく やさしく たくましく生き抜く子
笑顔と歌声あふれる学校 ～

2月号

令和4年2月1日

さいたま市立海老沼小学校



体育館通路脇のスイセン

節分

校長 宮本 江津子

少しずつですが、陽が沈むのが遅くなり、日が長くなったのを感じます。

1月28日（金）から31日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校閉鎖といたしました。本日より、再開することができました。学級閉鎖・学校閉鎖にあたり、急遽の変更やお迎え等に御対応いただき、本当にありがとうございました。今後も、対応がある場合は、安心メールでお知らせいたしますので、御理解と御協力の程、よろしくお願いいたします。

学校閉鎖の間に、土曜授業日が入っておりましたので、多くの御家庭で、お子様のオンライン授業の様子を見ることができたと思います。今回が初めてのオンライン授業のお子さん、今回が2度目のオンライン授業のお子さんもいたと思いますが、子ども達の様子は、いかがだったでしょうか。3学期の懇談会でお声をお聞かせいただきたいと思います。オンライン授業への御協力、ありがとうございました。私も学校で、それぞれの学級の授業の様子を、私のタブレットから見ていました。たくさん子ども達がログインして、朝の会を待っていたり、『おはようございます。』とチャットであいさつをしたりする様子を見て、頼もしく思いました。放課後には、1年生の提出された作品を見せてもらい、『1年生でも、こんなふう（自分で文字を書いたものや、写真で撮影したものを）提出できるんだ！すごい！』と感動しました。そして、その後、それぞれの提出物を、担任の先生がタブレット上で確認していました。今後は、毎日タブレットを持ち帰り、宿題もタブレット上でやるようになるでしょう……。

さて、まだまだ寒い日が続いておりますが、まもなく立春、暦の上では春がやってきます。そして、今年の立春は2月4日。春の始まる前の日……つまり、冬と春を分ける日という意味で、2月3日が『節分（季節を分ける日）』となっています。

節分は、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味を込めて悪いものを追い出す日。「鬼は外、福は内」と言いながら、豆まきをします。実は、もともと鬼の姿は決まっておらず、見えない悪いものを鬼と呼んでいたそうです。そして、悪いもの（鬼）を追い払い、良いもの（福）を呼び込むために、豆まきをするようになりました。

今、世界中が目に見えないウイルスと戦っています。みんなが不安な気持ちでいっぱいです。今日の講話朝会では、豆まきをしたつもりになって、目に見えない鬼（今は、コロナウイルス！）を退治し、みんなが健康で幸せに過ごせますように……と願って、子ども達といっしょに、鬼退治をしました。

学校では、先生方が、消毒を毎日行い、子ども達の安全に努めています。

今回の新型コロナウイルスは、大変感染力が強いです。気を付けていても、感染してしまうこともあるかもしれません。誰が悪いわけではありません。このことが差別やいじめにつながることはないよう、学校でも引き続き指導をしてまいります。御家庭でも、気になること（発言）がありましたら、その場で御指導の程よろしくお願いいたします。そして、地域の皆様、保護者の皆様には、今後も、本校の教育活動にお力添えをいただきますよう、よろしくお願いいたします。